

大和会研究集会

地域医療を支えるために
連携を図りその人らしい生活を支える

第1部 臨床研修医 症例報告

第2部 職員研究発表

1. 糖尿病教育入院において網膜症体感アプリを利用した指導の効果
～眼科の定期受診を促すために～
武蔵村山病院 手術室 関口 郷栄
2. リブレ装着の実際を知る
～日常生活への影響と看護師の役割～
東大和病院附属セントラルクリニック 看護部 佐原 由香
3. 明日のケアに生かす すずらんカンファレンス
～利用者さまの最期の時をチームで支え合う大切さ～
介護老人保健施設 東大和ケアセンター 瀧島 友紀
4. 退院調整パスの作成と病棟看護師の主体性向上への取り組み
～地域包括ケア病棟の発展を目指して～
武蔵村山病院 5A (地域包括ケア) 病棟 石原 瑠美
5. 地域包括支援センターにおける総合相談の分析と今後の展望について
～住民に頼りにされる地域包括支援センターを目指して～
武蔵村山市 北部地域包括支援センター 井梅 史
6. 大和会で行なう在宅復帰に向けた自己決定支援
大和会 ソーシャルワーカー部門 桜井 裕二郎

第3部 特別講演

ゾウの時間・ネズミの時間・私たちの時間

東京工業大学 名誉教授 本川 達雄 氏



ネズミの時間は早く、ゾウの時間はゆっくりと進む。エネルギーを使う動物ほど時間が早く進むのである。このような動物の時間を人間に当てはめると、若者の時間は早く、年をとると時間は遅いことになる。エネルギー消費量と時間の関係は、社会生活の時間にも当てはまりそうだ。われわれ現代人はエネルギーを使って時間を早め、さらに、寿命をも延ばしている。動物の時間を通して、現代人の時間、医療の時間について考えてみたい。

2018年

11月16日(金)

13:25～17:00

東大和市民会館

ハミングホール

参加無料・申込不要

一般参加可能



大和会では、職員の業務を通じた研究成果を発表する場として研究集会を開催いたします。地域に暮らす皆さまに、大和会の医療・介護・福祉に触れていただければと願い、広くお知らせいたします。

大和会研究集会準備委員会 委員長 大村 孝志